



ふくおか【Good👍】農業人100

主な農産物／キャベツ、スイートコーン、ジャガイモ、ダイコン

松浦 剛さん (30歳)

(営農地／北九州市若松区有毛)

チャンスに変わるピンチはピンチではない

《就農のきっかけ》

自分が前に進むために

大学卒業後は製鉄業に就職し、メンテナンスの仕事をしていました松浦さん。農家に生まれ育って、頭の片隅にはいつも農業のこと、家のこと、農地のことが気になっていたといいます。

「いずれは農業と向き合えないといけない。(農業を)やってダメなら自分には向いていないということ、いつまでも家や農業のことを気にしているだけでは、何も変わらない。自分が前に進むために農業に挑戦してみよう。」と思ったそうです。

「親の背中をみていたので、仕事はきついのが当たり前。20歳で就農した他の人たちと比べたら、年上の自分は2倍働いて2倍考えないと、彼らの経験に追いつけないと思っています。」

《これまでの過程》

家族経営から雇用経営へ

「1年目はまず、今まで家でしてきた農業の流れをそのままやってみました。その中で感じたことは、もうちょっとお金がほしいなど。只々売り上げを伸ばすために働きましたが、労働時間が長く、時給を考えたらずかたかったです。生産に直結している仕事を増やし、同時に雇用のことを考えていきました。」と松浦さん。

2年目に加工用キャベツと学校給食用ジャガイモの作付けの話聞いた時、効率重視のキャベツの鉄コンテナ出荷(加工用キャベツの出荷形態)は確実に売上を伸ばせると考え、すぐに取り組みを始めることを決めたそうです。

農作業の内容については想定していたことと言いつつも、「雇用については、苦労しました。従業員がいる予定で作付けしたのに、急に辞められたり、雇用保険とか知らないことばかりだったので、何度もハローワークの窓口に行きました。人を雇うって大変だなと実感しました。」と、計画どおりに進まない面もあったようです。



プロフィール

■家族構成／祖母、父、母、本人、妻、子ども3人 ■前職／製鉄業
■営農年数／約4年半 ■従業員数／常時雇用2名、パート3名
■耕作(経営)面積／約13ha ■販路／JA共販、直売

《これからの展望》

規模拡大していきたい

「雇用者に辞められたときは、本当にピンチだったのですが、そのおかげで、安定した労働力の確保のために何をしたらいいか考えるようになりました。チャンスに変わるピンチはピンチではありません。今は、中国人労働者(外国人研修制度)の話などにも興味があります。」

「人を雇うことのメリットも見えてきましたし、これからも面積はどんどん増やすつもりです。そのために、雇用で対応できる仕事内容にしたいです。」と、規模拡大に前向きに取り組んでいます。



Good👍 成功のためのポイント

出会いを活かす!他の生産者(産地)の方々にいろんな話を聞くことです。先入観や固定概念をもたずに自然な気持ちで、とにかく熟練した人たちと話をすることで新たな情報を収集できます。